
第9期 / 平成20年3月期

第3四半期 決算説明資料

2008年2月6日



カブドットコム証券株式会社

東証1部 8703

わたしたちは**MUFG**です。
MUFG



・ 決算概況

- (P 3) 平成20年3月期 第3四半期決算ハイライト
- (P 4) 決算業績(前年同期比較:4-12月)
- (P 5) 販管費概況(前年同期比較:4-12月)
- (P 6) 決算業績(四半期推移)
- (P 7) 販管費概況(四半期推移)
- (P 8) 商品別収益構成(年度推移)
- (P 9) 主要経営指標

・ 決算実績から見た当社ポジショニング

- (P11) 株式個人委託売買代金シェア
- (P12) 営業収益経常利益率(四半期推移)
- (P13) コストカバー率(四半期推移)
- (P14) 金融収支と信用建玉残高(四半期推移)
- (P15) 外国為替証拠金取引(FX)(四半期推移)
- (P16) IPO/PO取扱い件数(四半期推移)
- (P17) 株券差引入庫額

・ 営業数値概況

- (P19) 口座数(四半期推移)
- (P20) 預り資産(四半期推移)
- (P21) 1日当たり株式約定件数・約定金額(四半期推移)
- (P22) 先物取引口座数と先物委託手数料(四半期推移)
- (P23) 投資信託預り資産(月次推移)
- (P24) 当社投資信託サービスの特徴
- (P25) 投信売れ筋ランキング
- (P26) 手数料率と株式1約定当たり売買代金
- (P27) 信用評価損益率(買建のみ)

・ 当期の取り組み等

- (P29) 当期の主な取り組み(2007年4月-2007年12月)
- (P30) 三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化
- (P31) システム関連の開示
- (P32) お客様サポートセンター関連の開示
- (P33) 売買審査状況
- (P34) 私設取引システム(kabu.comPTS)関連の開示(1)
- (P35) 私設取引システム(kabu.comPTS)関連の開示(2)
- (P36) コーポレート・ガバナンス
- (P37) 知的財産関連の活動状況

・ 当社の経営目標

- (P39) 当社の経営理念・経営方針
- (P40) 当社の経営目標

決算概況

平成20年3月期 第3四半期決算ハイライト

【第3四半期(4-12月：9ヶ月)】

■ 営業収益	： 161億円	(前年同期比	+4%)
■ 販管費	： 70億円	(同	+9%)
■ 経常利益	： 80億円	(同	-1%)
■ 当期純利益	： 47億円	(同	+3%)

(参考) 株式個人委託売買代金(三市場)： 10,160億円/日 (前年同期比 -2%)
 株式個人委託売買代金(JASDAQ)： 398億円/日 (前年同期比 -55%)

□ 収益の多様化により営業収益は前年同期比で4%の増収を確保。当期純利益は前年同期比3%増。

【第3四半期(10-12月：3ヶ月)】

■ 営業収益	： 53億円	(前四半期比	-4%、	前年同期比	+16%)
■ 販管費	： 22億円	(同	-15%、	同	-3%)
■ 経常利益	： 27億円	(同	+9%、	同	+35%)
■ 当期純利益	： 16億円	(同	+3%、	同	+41%)

(参考) 株式個人委託売買代金(三市場)： 9,490億円/日 (前四半期比 -7%、前年同期比 -3%)
 株式個人委託売買代金(JASDAQ)： 391億円/日 (前四半期比 +22%、前年同期比 -48%)

□ 経常利益・当期純利益は、四半期ベースで今期最高益。

□ システムの大型投資等は一巡し、販管費は四半期ベースで今期最低となる。

決算業績（前年同期比較：4-12月）

株式個人委託売買代金の落ち込みはあったものの、デリバティブ取引、投信関連収益や金融収益の拡大による収益多角化により営業収益は+4%を確保。

販管費の増加により経常利益は-1%の減少となったものの、最終利益は増益を確保。

（単位：百万円、切捨）

	平成19年3月期 第3四半期(4-12月)	平成20年3月期 第3四半期(4-12月)	前年同期比 増減率
営業収益	15,471	16,166	+4%
受入手数料	11,191	10,632	-5%
金融収益	4,274	5,535	+29%
金融費用	842	1,089	+29%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	3,431	4,445	+30%
純営業収益	14,628	15,077	+3%
販管費	6,472	7,084	+9%
営業利益	8,155	7,993	-2%
経常利益	8,149	8,056	-1%
税引前純利益	7,913	8,121	+3%
当期純利益	4,672	4,794	+3%
ROE(自己資本純利益率)	18.0%	16.7%	-7%
(参考)三市場株式個人委託売買代金(/日)	10,335 億円	10,160 億円	-2%
(参考)JQ市場株式個人委託売買代金(/日)	887 億円	398 億円	-55%
(参考)当社約定金額(/日)	669 億円	609 億円	-9%

三市場・JQ市場株式個人委託売買代金(/日)は、東京証券取引所・JASDAQ公表数値より当社算出

販管費概況（前年同期比較：4-12月）

第2四半期(7-9月)に計上した貸倒引当金の影響が大きく、貸倒引当金繰入は前年同期比で77%の増加となる。

勘定系システムの刷新や、PTS、BCP拡充の投資などシステム関連の投資が増加し、不動産関係費、減価償却費が前年同期比で増加。

(単位：百万円、切捨)

	平成19年3月期 第3四半期(4-12月)	平成20年3月期 第3四半期(4-12月)	前年同期比 増減率
販管費合計	6,472	7,084	+9%
取引関係費	3,227	3,249	+1%
広告宣伝費	355	215	-39%
その他	2,872	3,033	+6%
人件費	659	764	+16%
不動産関係費	1,316	1,565	+19%
事務費	605	569	-6%
減価償却費	335	474	+41%
租税公課	104	102	-2%
貸倒引当金繰入	145	257	+77%
その他	77	100	+29%

決算業績(四半期推移)

經常利益、当期純利益は四半期ベースで今期最高益を確保。

前年同期比も、販管費の減少、収益源の多様化等により、増収・増益となる。

(単位:百万円、切捨)

	平成19年3月期				平成20年3月期			前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)		
営業収益	5,887	4,975	4,608	5,475	5,276	5,564	5,325	-4%	+16%
受入手数料	4,378	3,595	3,217	3,891	3,458	3,570	3,603	+1%	+12%
金融収益	1,505	1,378	1,390	1,582	1,818	1,994	1,721	-14%	+24%
金融費用	293	278	270	311	366	398	324	-18%	+20%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	1,212	1,100	1,119	1,270	1,452	1,596	1,396	-12%	+25%
純営業収益	5,594	4,696	4,337	5,163	4,910	5,165	5,000	-3%	+15%
販管費	2,123	2,079	2,270	2,267	2,284	2,587	2,212	-15%	-3%
営業利益	3,471	2,617	2,067	2,895	2,626	2,578	2,788	+8%	+35%
經常利益	3,491	2,587	2,070	2,867	2,686	2,572	2,796	+9%	+35%
税引前純利益(四半期)	3,400	2,509	2,002	2,388	2,604	2,707	2,808	+4%	+40%
当期純利益(四半期)	2,019	1,476	1,176	1,416	1,532	1,605	1,656	+3%	+41%
(参考)三市場株式個人委託売買代金(/日) 単位:億円	11,931	9,313	9,777	13,003	10,840	10,151	9,490	-7%	-3%
(参考)JQ市場株式個人委託売買代金(/日) 単位:億円	1,108	797	757	734	481	321	391	+22%	-48%
(参考)当社約定金額(/日) 単位:億円	778	615	615	811	653	599	576	-4%	-6%
(参考)信用建玉末残高 単位:億円	1,922	1,756	1,715	1,928	1,913	1,565	1,466	-6%	-15%

三市場・JQ市場株式個人委託売買代金(/日)は、東京証券取引所・JASDAQ公表数値より当社算出

販管費概況(四半期推移)

販管費は前四半期比-15%、四半期ベースでも今期最低。

PTS、BCP拡充の投資などシステム関連の大型投資は一巡し、不動産関係費、減価償却費はほぼ横ばいで推移。第2四半期に計上した貸倒引当金も大幅に減少。

(単位:百万円、切捨)

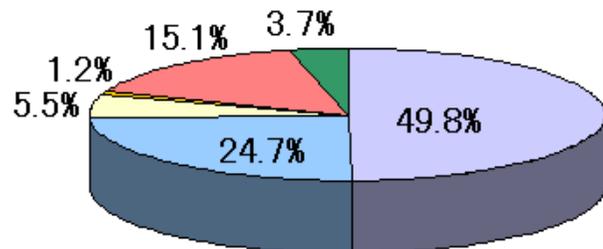
	平成19年3月期				平成20年3月期			前四半期比	前年同期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)		
販管費率(対営業収益)	36%	42%	49%	41%	43%	47%	42%	-11%	-16%
販管費合計	2,123	2,079	2,270	2,267	2,284	2,587	2,212	-15%	-3%
取引関係費	1,053	1,087	1,086	1,100	1,086	1,123	1,038	-8%	-4%
広告宣伝費	93	140	121	73	84	63	67	+7%	-44%
その他	959	946	965	1,027	1,002	1,060	970	-8%	+1%
人件費	232	210	216	230	251	258	255	-1%	+18%
不動産関係費	356	437	522	467	522	526	516	-2%	-1%
事務費	231	184	189	194	194	196	178	-9%	-6%
減価償却費	81	106	148	154	155	158	160	+2%	+8%
租税公課	41	29	32	32	36	32	33	+3%	+2%
貸倒引当金繰入	92	0	53	57	3	254	0	-100%	-99%
その他	33	23	20	29	34	37	28	-24%	+39%
(参考)受入手数料	4,378	3,595	3,217	3,891	3,458	3,570	3,603	+1%	+12%
(参考)当社約定金額(/日) 単位:億円	778	615	615	811	653	599	576	-4%	-6%

商品別収益構成 (年度推移)

純営業収益に占める株式手数料の比率は、2005年度の74%から50%割れまで低下。投信、デリバティブの比率は拡大基調を継続、2007年5月から開始した為替取引も着実に収益に寄与。

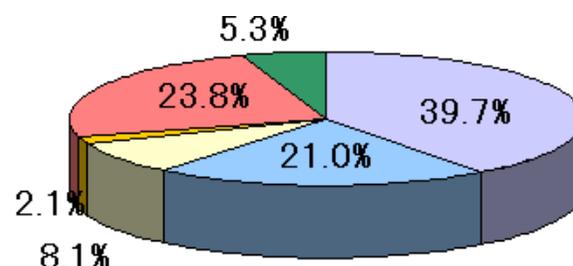
2005年度

純営業収益: 19,886百万円
三市場株式個人委託売買代金: 12,583億円



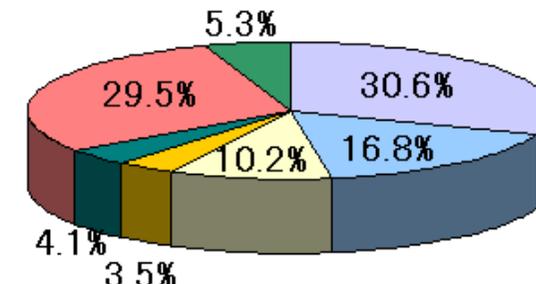
2006年度

純営業収益: 19,791百万円
三市場株式個人委託売買代金: 10,975億円



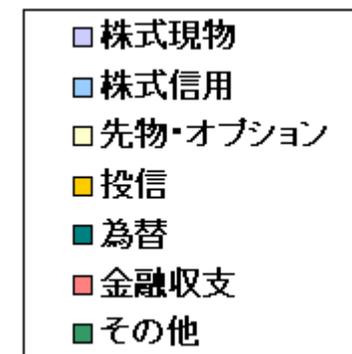
2007年度累計(4月-12月)

純営業収益: 15,077百万円
三市場株式個人委託売買代金: 10,160億円



商品別収益構成 (単位:百万円)

	2005年度	比率	2006年度	比率	2007年度累計	比率
株式現物	9,899	49.8%	7,865	39.7%	4,614	30.6%
株式信用	4,920	24.7%	4,161	21.0%	2,533	16.8%
先物・オプション	1,089	5.5%	1,595	8.1%	1,532	10.2%
投信	240	1.2%	412	2.1%	524	3.5%
為替	-	-	-	-	620	4.1%
金融収支	3,005	15.1%	4,702	23.8%	4,445	29.5%
その他	731	3.7%	1,054	5.3%	806	5.3%
純営業収益	19,886	100.0%	19,791	100.0%	15,077	100.0%



主要経営指標

ROEは4四半期連続で改善するものの、目標とする20%台には届かず。
営業収益経常利益率、コストカバー率も前四半期、前年同期比ともに改善。

当数値については、経営上の重要な指標として今後も注視。

	平成19年3月期				平成20年3月期		
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)
ROE (自己資本利益率) *年換算で算出	24.4%	17.5%	13.4%	15.4%	16.5%	17.4%	17.5%
営業収益経常利益率	59%	52%	45%	52%	51%	46%	53%
コストカバー率 (委託手数料/販管費)	189%	158%	126%	155%	132%	112%	131%
コストカバー率 (委託手数料/システム関連費)	600%	451%	332%	430%	347%	328%	339%

営業収益経常利益率 = 経常利益 ÷ 営業収益

システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

・ 決算実績から見た 当社ポジショニング

株式個人委託売買代金シェア

- 当社シェアは前年同期比横ばいで推移。シェアの拡大は今後の課題。
- 2007年12月の月間シェアは、マネックス証券を抜き第4位に浮上。

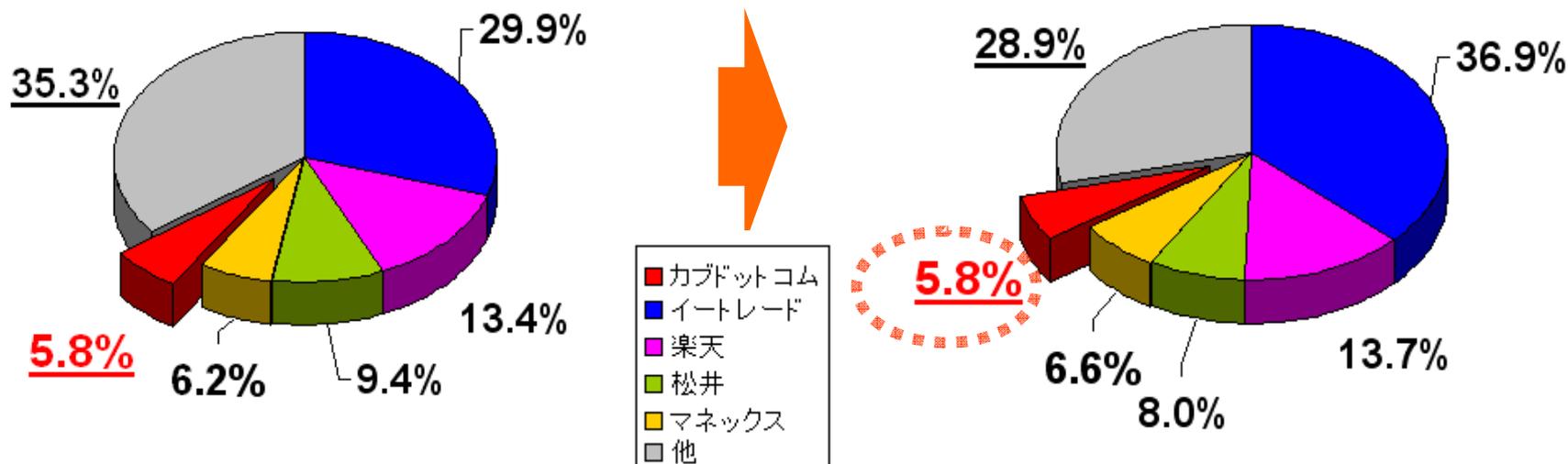
三市場+JASDAQ 株式個人委託売買代金シェア推移

平成19年3月期 第3四半期 (10 - 12月)

オンライン証券大手5社計 (64.7%)

平成20年3月期 第3四半期 (10 - 12月)

オンライン証券大手5社計 (71.1%)

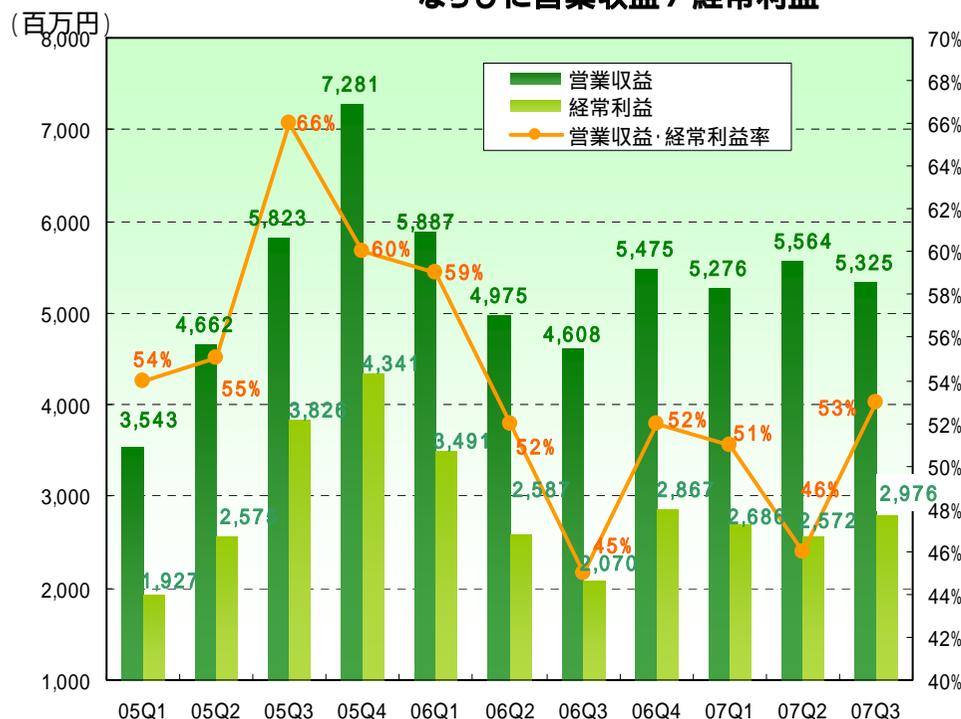


東証統計資料、ジャスダック証券取引所統計資料、各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページ等公表資料により当社にて集計
SBIイー・トレード証券は、対面取引の売買代金を除く。

営業収益経常利益率 (四半期推移)

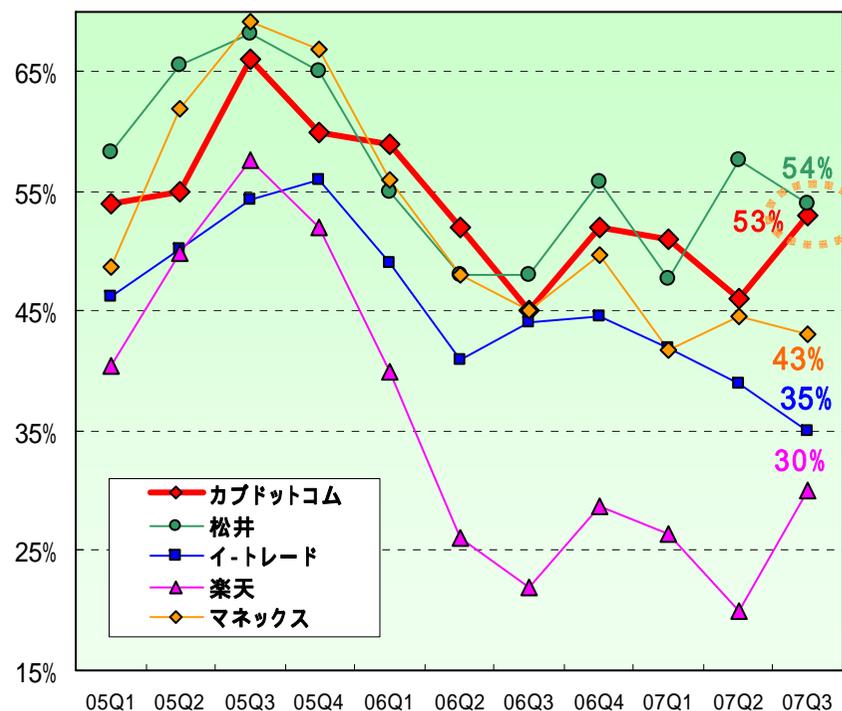
- 当四半期の営業収益経常利益率は53%。前四半期比で+7ポイント、前年同期比で+8ポイント。

営業収益経常利益率
ならびに営業収益 / 経常利益



各社ホームページ等公表資料より当社作成
営業収益経常利益率は、四半期毎の営業収益、経常利益で算出

オンライン専門証券大手5社
営業収益経常利益率の推移

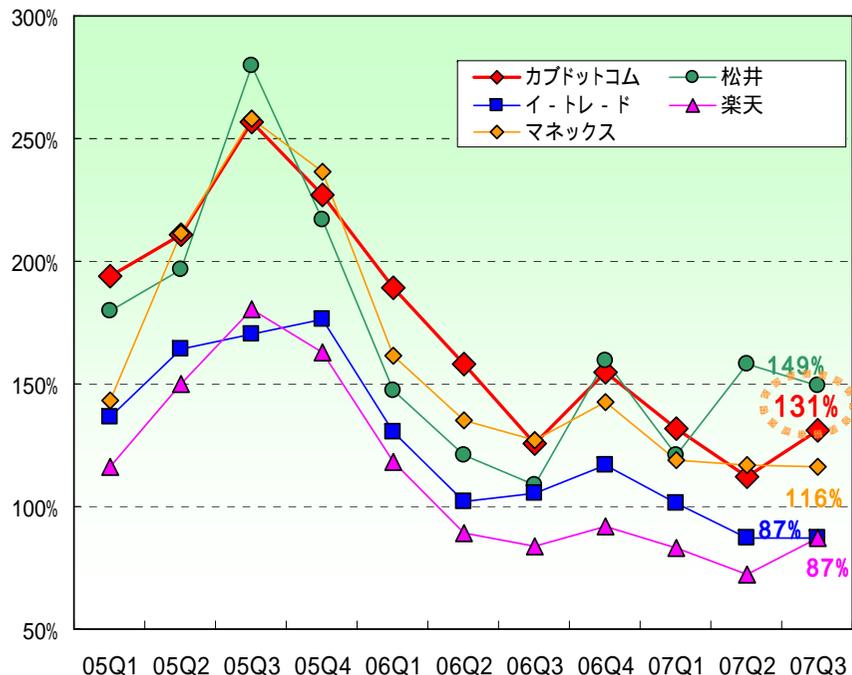


楽天は、楽天証券(個別)の決算発表数値より算出

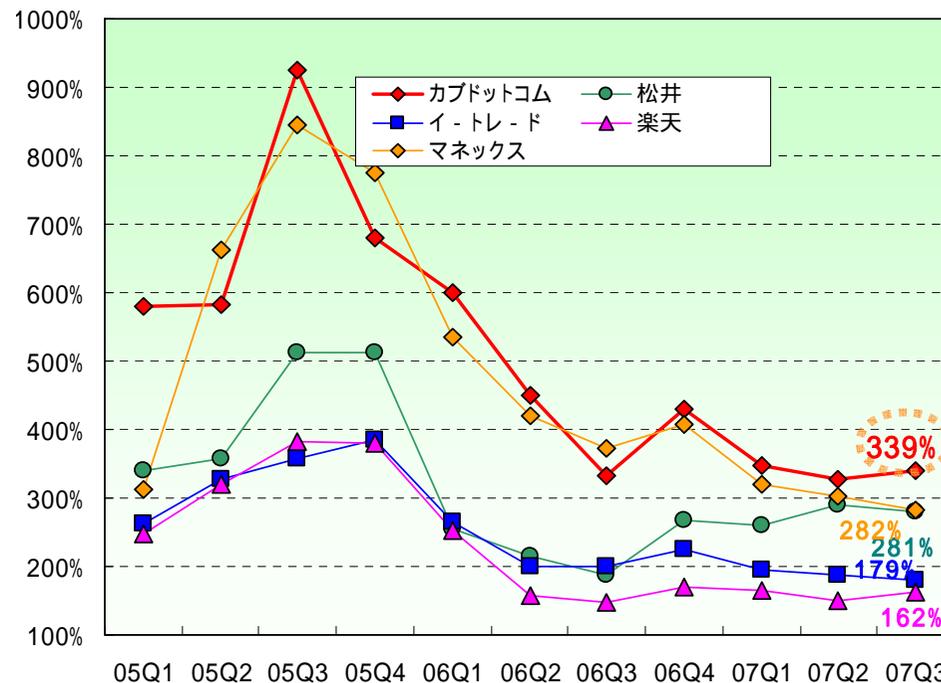
コストカバー率 (四半期推移)

- 市況は低迷しているものの委託手数料収入は前四半期比で増加。販管費の抑制もあり、委託手数料/販管費率は19ポイントの改善。
- システム関連費も前四半期に比べ減少し、委託手数料/システム関連比率は11ポイントの改善。

コストカバー率 (委託手数料/販管費率)



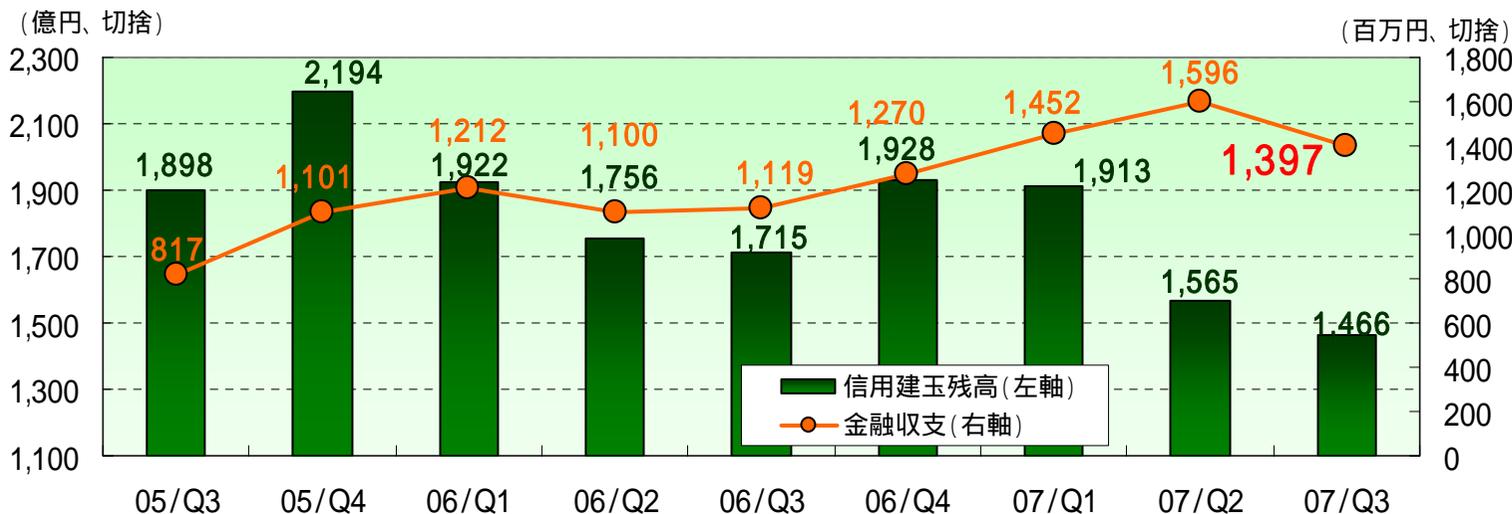
コストカバー率 (委託手数料/システム関連費率)



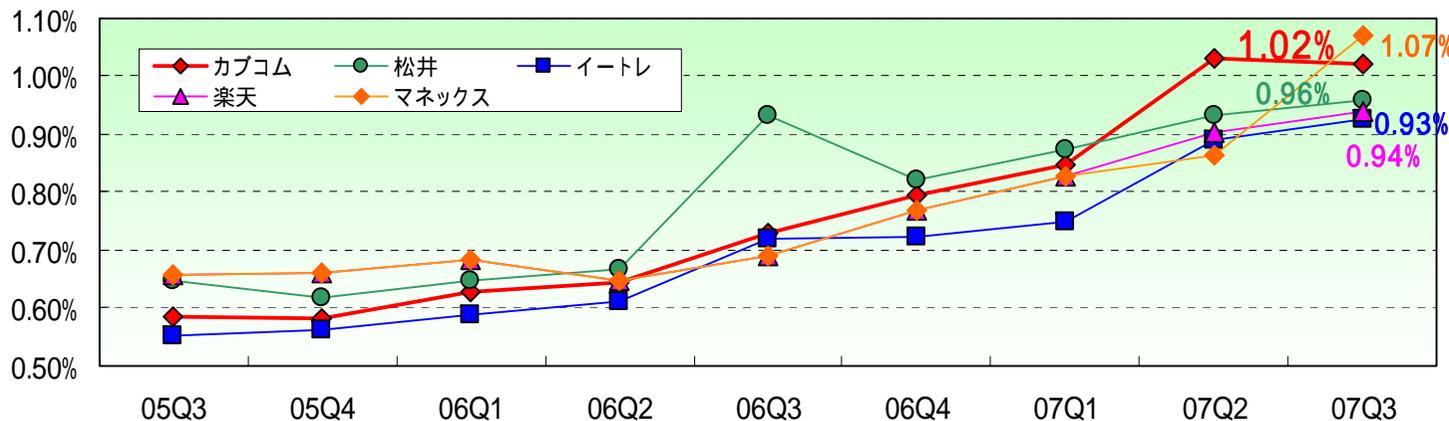
各社開示資料より当社算出
 システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費
 楽天証券は、楽天証券(個別)の決算発表数値より算出

金融収支と信用建玉残高(四半期推移)

三菱東京UFJ銀行の子会社化による低利資金調達枠の拡大や運用・調達構造等の見直しにより、引き続き金融収支/買建て比率は業界屈指を維持。



信用買建て平残額に対する金融収支比率



当該計算期間の金融収支額(金融収益-金融費用)を、信用取引貸付金の前四半期末と当四半期末の数値の単純平均金額により除した比率。
 各社公表数値をもとに当社計算(マネックスは、連結で算出)

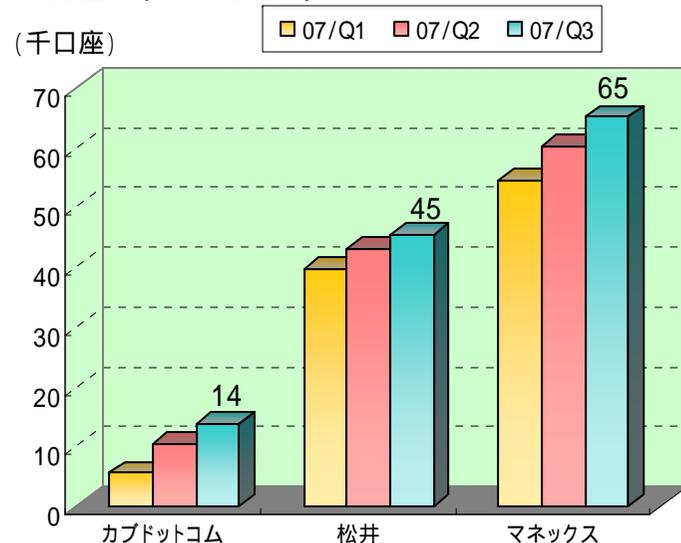
外国為替保証金取引(FX) (四半期推移)

- 2007年5月より外国為替保証金取引(FX)の取扱を開始。開始より3四半期目で、数年先行する2社の一日当たりの約定金額を上回る。

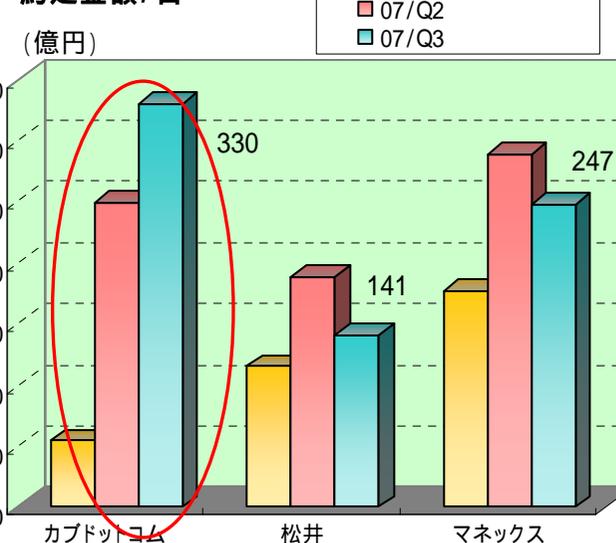
当社FX取引の主な特長

- ・ 10通貨ペアを取扱い
- ・ 自動売買等のリスク管理機能
- ・ パソコン + 携帯電話にも対応
- ・ オンライン証券で最低水準の手数料体系 (1万通貨当たり200円)
- ・ 複数のレバレッジ・コース (4種類のレバレッジコースを選択可能)
- ・ 充実した投資情報 (スーパーチャートFX、為替速報ニュース等)

FX口座数 (四半期末)



約定金額/日



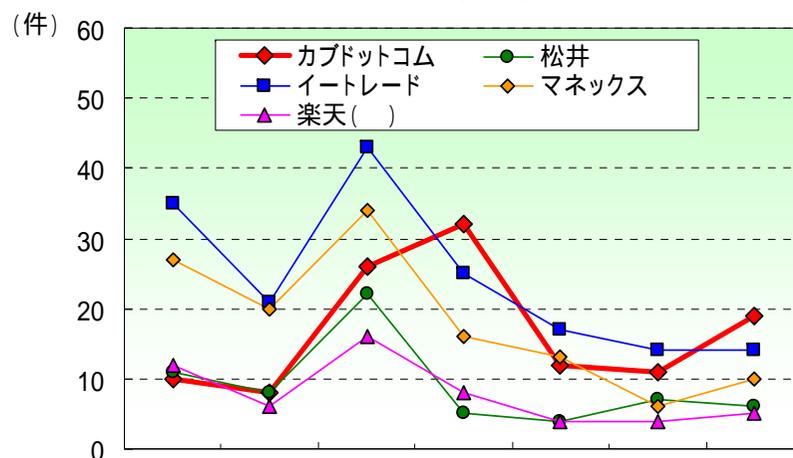
各社ホームページ等公表資料により当社にて集計
SBIイー・トレード証券、楽天証券のFX口座数、FX約定金額は未公表

IPO/PO取扱い件数(四半期推移)

- 三菱UFJ証券との引受け業務の包括提携により、2006年第3四半期以降、IPO(新規公開)、PO(公募/売出し)の当社取扱い比率は拡大。
- 当四半期は、IPO、POとも、オンライン大手証券の中でトップの取扱い件数となる。

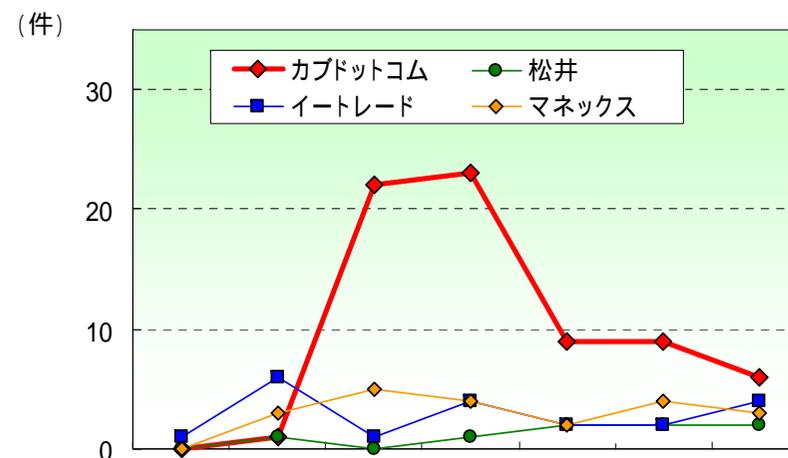
[オンライン専門証券大手5社 IPO/PO取扱実績推移]

新規公開株(IPO)



	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4	07/Q1	07/Q2	07/Q3
カブドットコム	10	8	26	32	12	11	19
松井	11	8	22	5	4	7	6
イートレード	35	21	43	25	17	14	14
マネックス	27	20	34	16	13	6	10
楽天()	12	6	16	8	4	4	5

公募・売出し(PO)



	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4	07/Q1	07/Q2	07/Q3
カブドットコム	0	1	22	23	9	9	6
松井	0	1	0	1	2	2	2
イートレード	1	6	1	4	2	2	4
マネックス	0	3	5	4	2	4	3

各社ホームページ等公表資料により当社にて集計

楽天証券のPO(公募/売出)取扱件数は公表されておらず、公表されているIPO取扱件数のみで資料を作成

株券差引入庫額

- 当四半期の株券差引入庫額は約60億円の在庫超過。前四半期比で減少はするものの在庫超過基調は継続。

(単位:百万円)

	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4	07/Q1	07/Q2	07/Q3
A証券	317	249	-163	14	764	-92	126	204	-40
B証券	-734	-1,048	-911	74	-520	-177	-39	-325	-504
C証券	-43	-89	-121	-166	-170	28	35	111	-35
D証券	465	579	110	436	-159	-344	-14	-94	74
オンライン大手4社 計	6	-310	-1,084	357	-86	-585	108	-103	-504
X証券	2,767	6,133	2,537	699	1,193	1,395	1,461	1,387	992
Y証券	412	580	514	603	434	206	-423	166	376
Z証券	946	1,686	1,745	947	1,499	1,899	504	602	-46
大手3社 計	4,124	8,399	4,797	2,248	3,126	3,500	1,542	2,155	1,322
その他証券会社	3,925	8,432	6,585	2,572	4,171	5,358	2,343	2,912	2,448
振替差引入庫額 + +	8,055	16,521	10,297	5,177	7,212	8,272	3,993	4,964	3,266
直接入庫額	6,094	8,375	9,655	5,754	3,929	4,919	5,804	3,783	2,756
合計 (+ + +)	14,149	24,895	19,953	10,931	11,142	13,191	9,797	8,747	6,022

株式差引入庫額は、「他社から当社への入庫額 - 当社から他社への出庫額」にて算出(四捨五入)
 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理月の月末時点の時価にて換算

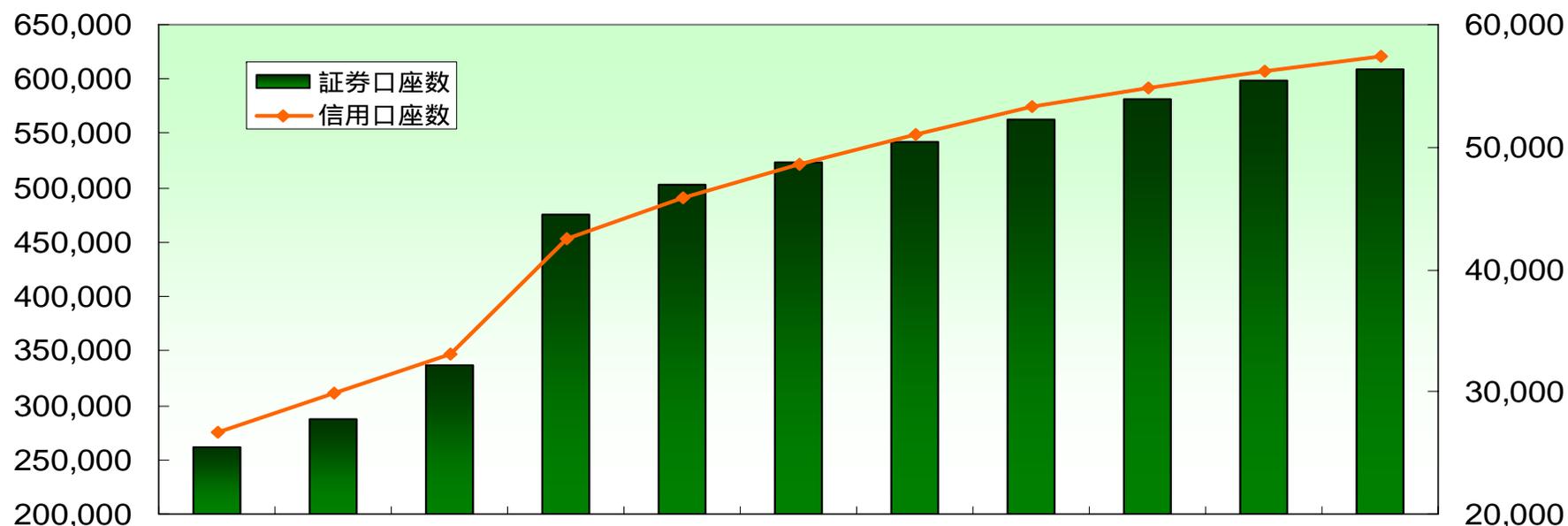
・ 営業数値概況

口座数(四半期推移)

- 当四半期末の証券口座数は、608,625口座に。(前年同期末比12%増)
- 当四半期末の信用口座数は、57,408口座に。(前年同期末比13%増)

証券口座数

信用口座数

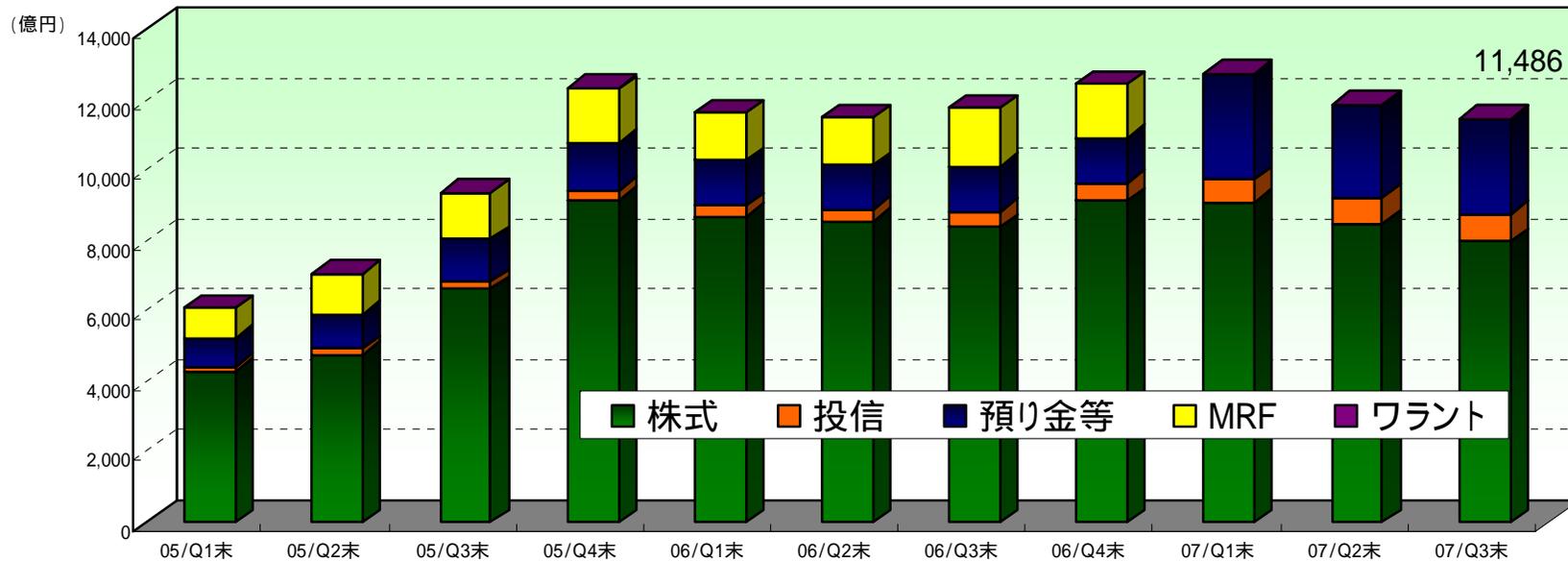


	平成18年3月期				平成19年3月期				平成20年3月期		
	05/Q1末	05/Q2末	05/Q3末	05/Q4末	06/Q1末	06/Q2末	06/Q3末	06/Q4末	07/Q1末	07/Q2末	07/Q3末
証券口座数	262,291	287,987	336,423	475,425	502,327	524,191	542,990	562,606	580,781	597,898	608,625
信用口座数	26,656	29,813	33,122	42,554	45,858	48,616	50,966	53,374	54,888	56,200	57,408

証券口座数・信用口座数とも、抹消済口座数を除いた純増数から算出

預り資産(四半期推移)

日経平均株価が前四半期末比-9%となり時価換算の株式預り金額が減少したものの、投資信託、預り金については増加し、預り資産は前四半期末比で-3%。



預り資産の内訳 (単位: 億円、切捨)

	05/Q1末	05/Q2末	05/Q3末	05/Q4末	06/Q1末	06/Q2末	06/Q3末	06/Q4末	07/Q1末	07/Q2末	07/Q3末
株式	4,291	4,760	6,624	9,159	8,697	8,550	8,392	9,120	9,103	8,494	7,994
投信	144	167	217	277	302	347	436	525	654	754	781
預り金等	799	996	1,228	1,352	1,304	1,250	1,282	1,293	2,997	2,630	2,706
MRF	832	1,150	1,311	1,550	1,354	1,357	1,668	1,508	0	0	0
ワラント	1	3	6	6	4	3	2	3	18	4	4
合計	6,068	7,078	9,389	12,347	11,663	11,510	11,782	12,451	12,774	11,883	11,486

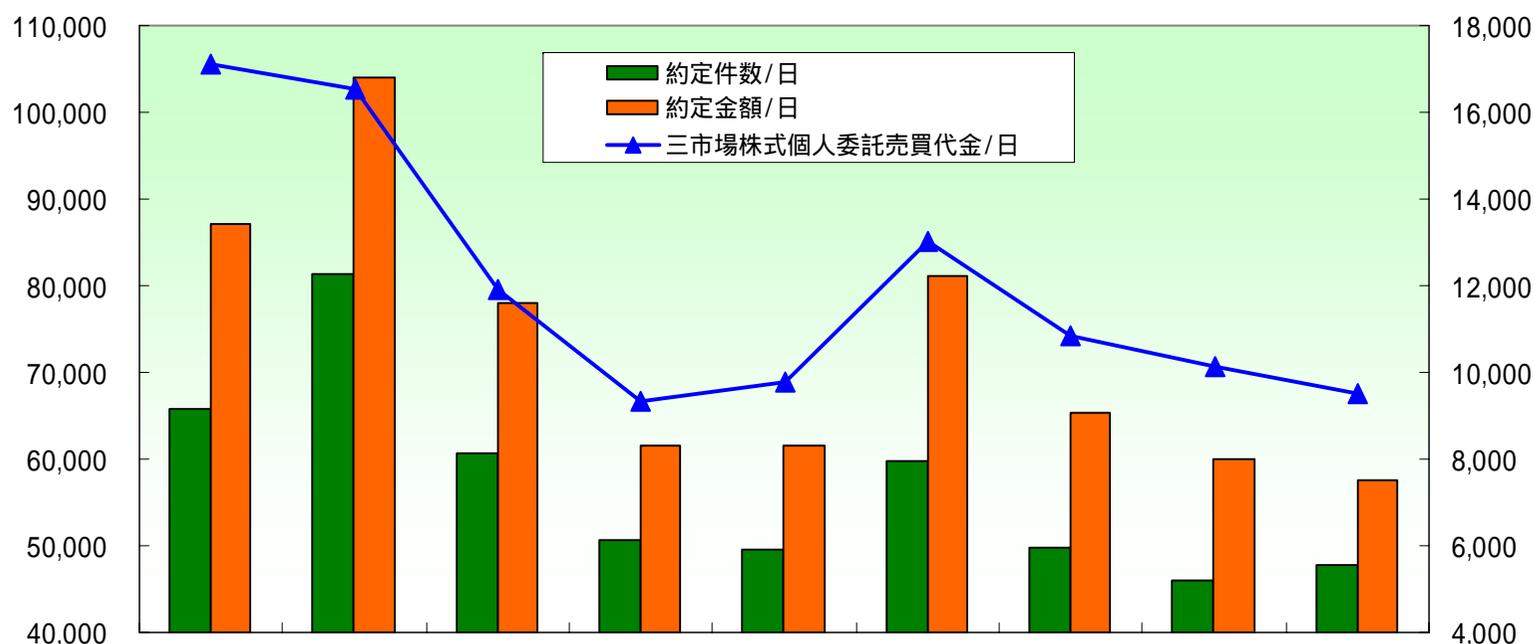
時価ベースにて算出、MRFは2007年4月末に廃止。

1日当たり株式約定件数・約定金額（四半期推移）

- 一日当たり三市場株式個人委託売買代金は4四半期ぶりに1兆円を割り込み、9,490億円と前四半期比-7%となる。当社約定件数は+4%、約定金額は-4%。

左軸：（約定件数 件、切捨 / 約定金額 百万円、切捨）

右軸：（三市場個人委託売買代金 億円、切捨）

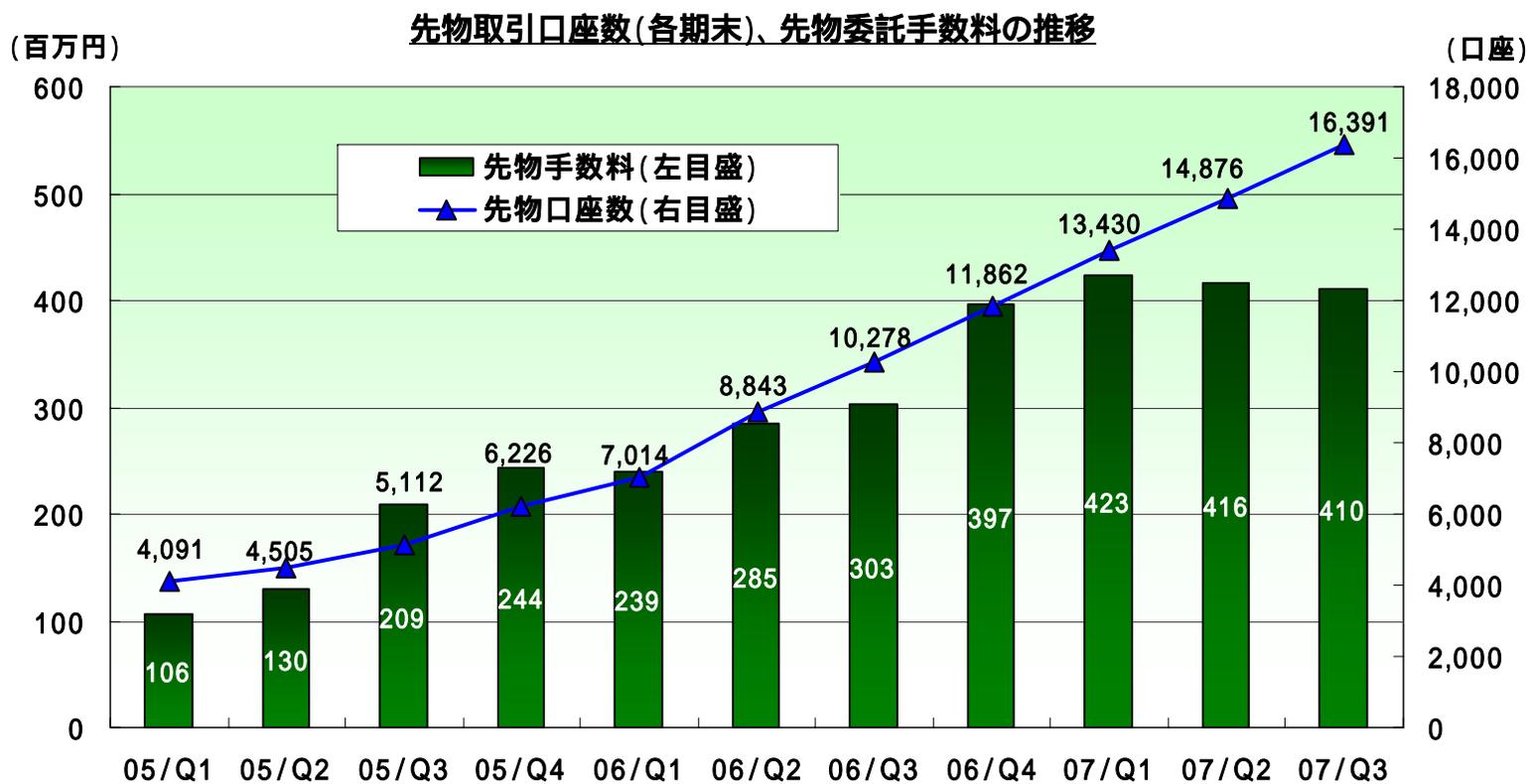


	平成18年3月期		平成19年3月期				平成20年3月期		
	05/Q3	05/Q4	06/Q1	06/Q2	06/Q3	06/Q4	07/Q1	07/Q2	07/Q3
約定件数/日	65,763	81,359	60,633	50,578	49,666	59,851	49,870	45,940	47,882
約定金額/日	87,113	103,928	77,892	61,538	61,519	81,128	65,382	59,943	57,601
三市場株式個人委託売買代金/日	17,097	16,533	11,931	9,313	9,777	13,003	10,840	10,151	9,490

東京証券取引所公表数値より当社算出

先物取引口座数と先物委託手数料 (四半期推移)

- 先物取引口座数は前年同期末比で59%増となり、16,391口座まで着実に伸長。
- 先物取引の委託手数料も、高水準を維持。



先物手数料値下げ

先物取引: 日経225先物、日経225mini、TOPIX先物

投資信託預り資産(月次推移)

投資信託の当四半期末の預り残高は781億円。内、ノーロード投信の預り残高は、548億円。

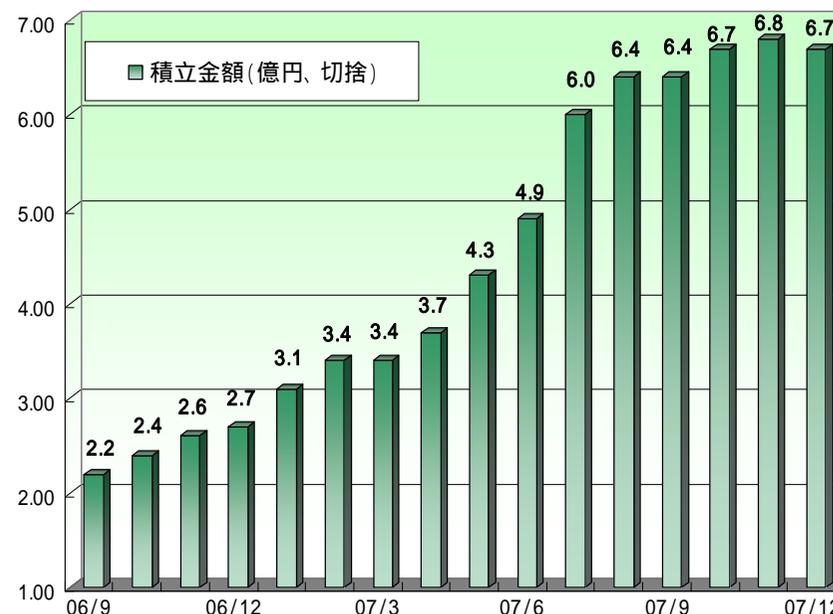
投信つみたて「ファンド星人」による投資信託の積立金額も、月間6億円台での推移。

投資信託預り資産推移



預り資産残高は各月末の残高、時価ベースにて算出

投信つみたて(ファンド星人)月間積立金額推移



積立金額は月間の投信つみたて(ファンド星人)の設定金額

当社投資信託サービスの特徴

バラエティに富んだファンドラインナップ

毎月分配型ファンド・BRICs・バランスファンドやコモディティファンドなど、全157ファンド247本と、オンライン証券屈指の投信ラインナップ。

ノーロードファンドはオンライン証券最多水準

ノーロード(手数料無料)ファンドは67ファンド110本。当社投信預り残高に占めるノーロードファンドの比率は70%。

投信つみたて「ファンド星人」

毎月1万円から証券口座または預貯金口座からの自動引落で投信積み立て可能。全105ファンド(内ノーロード50ファンド)のラインナップを積立日も金額も自在に設定できる投信積み立てサービス。

ファンドDE割引

当社でお預りしている投資信託の月末残高1,000万円毎に、株式(現物・信用・プチ株・夜間取引)手数料を毎月1回無料にする手数料割引プラン(残高1億円以上は10回均一)。

投資信託振替入出庫サービス

2007年7月より投資信託の振替入出庫に対応。当社、他社(機構参加の証券会社・銀行等)間で保管する投資信託の振替が可能。(MMF・中国ファンド除く当社取扱投資信託に限る)

投資信託を保証金/証拠金の代用有価証券に利用可能

投資信託を信用取引、先物・オプション取引の保証金、証拠金の代用有価証券として利用可能。また今後、外国為替保証金取引(FX)の代用有価証券にも投資信託を追加の予定。

投資信託取引ルールの変更

投資信託の売却代金を利用した投資信託の買付注文は受渡が完了するまで購入申込が不可としていたが、2007年12月より投資信託の売却代金を約定日の翌日より、投資信託の買付余力として反映。

投信売れ筋ランキング

- 当四半期の投信買付約定金額の上位銘柄は、国際株式型のファンドがランキングの半数を占める。
- 投信つみたて「ファンド星人」の買付設定額上位は、バランス型ファンドの比率が高い。

■ 投信買付約定金額 上位10ファンド (10~12月)

	ファンド名	運用会社	商品分類	リスクメジャー
1	三菱UFJ チャイナオープン	三菱UFJ投信	国際株式型(アジア・オセアニア型)	4(平均以上)
2	三菱UFJ ドイチェインド株式ファンド	三菱UFJ投信	ファンド・オブ・ファンズ	4(平均以上)
3	ステート・ストリート外国株式インデックスオープン	ステート・ストリート	国際株式型(一般型)	3(平均)
4	インデックスファンド225	三菱UFJ投信	インデックス型(日経225連動型)	4(平均以上)
5	シュローダーBRICS株式ファンド	シュローダー	国際株式型(一般型)	3(平均)
6	損保ジャパンフォルティス・トルコ株式オープン	損保ジャパンアセット	国際株式型(欧州型)	3(平均)
7	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	国際投信	バランス型(バランス型)	3(平均)
8	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	国際投信	バランス型(バランス型)	2(平均以下)
9	トピックスオープン	三菱UFJ投信	インデックス型(TOPIX連動型)	3(平均)
10	損保ジャパンS&P拡大中国株投信	損保ジャパンアセット	国際株式型(アジア・オセアニア型)	4(平均以上)

■ 投信つみたて「ファンド星人」買付設定額 上位10ファンド (12月末現在)

	ファンド名	運用会社	商品分類	リスクメジャー
1	ステート・ストリート外国株式インデックスオープン	ステート・ストリート	国際株式型(一般型)	3(平均)
2	トピックスオープン	三菱UFJ投信	インデックス型(TOPIX連動型)	3(平均)
3	三菱UFJ チャイナオープン	三菱UFJ投信	国際株式型(アジア・オセアニア型)	4(平均以上)
4	三菱UFJ ドイチェインド株式ファンド	三菱UFJ投信	ファンド・オブ・ファンズ	4(平均以上)
5	グローバル・ソブリン・オープン(1年決算型)	国際投信	バランス型(バランス型)	2(平均以下)
6	インデックスファンド225	三菱UFJ投信	インデックス型(日経225連動型)	4(平均以上)
7	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド(毎月分配型)	三菱UFJ投信	バランス型(バランス型)	-
8	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	国際投信	バランス型(バランス型)	3(平均)
9	損保ジャパンフォルティス・トルコ株式オープン	損保ジャパンアセット	国際株式型(欧州型)	3(平均)
10	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	国際投信	バランス型(バランス型)	2(平均以下)

リスクメジャーとは、値下りをリスクと捉えた「下方リスク」が、全ファンドの中でどの水準にあるかを示した値で、1(低)から5(高)までで示される。

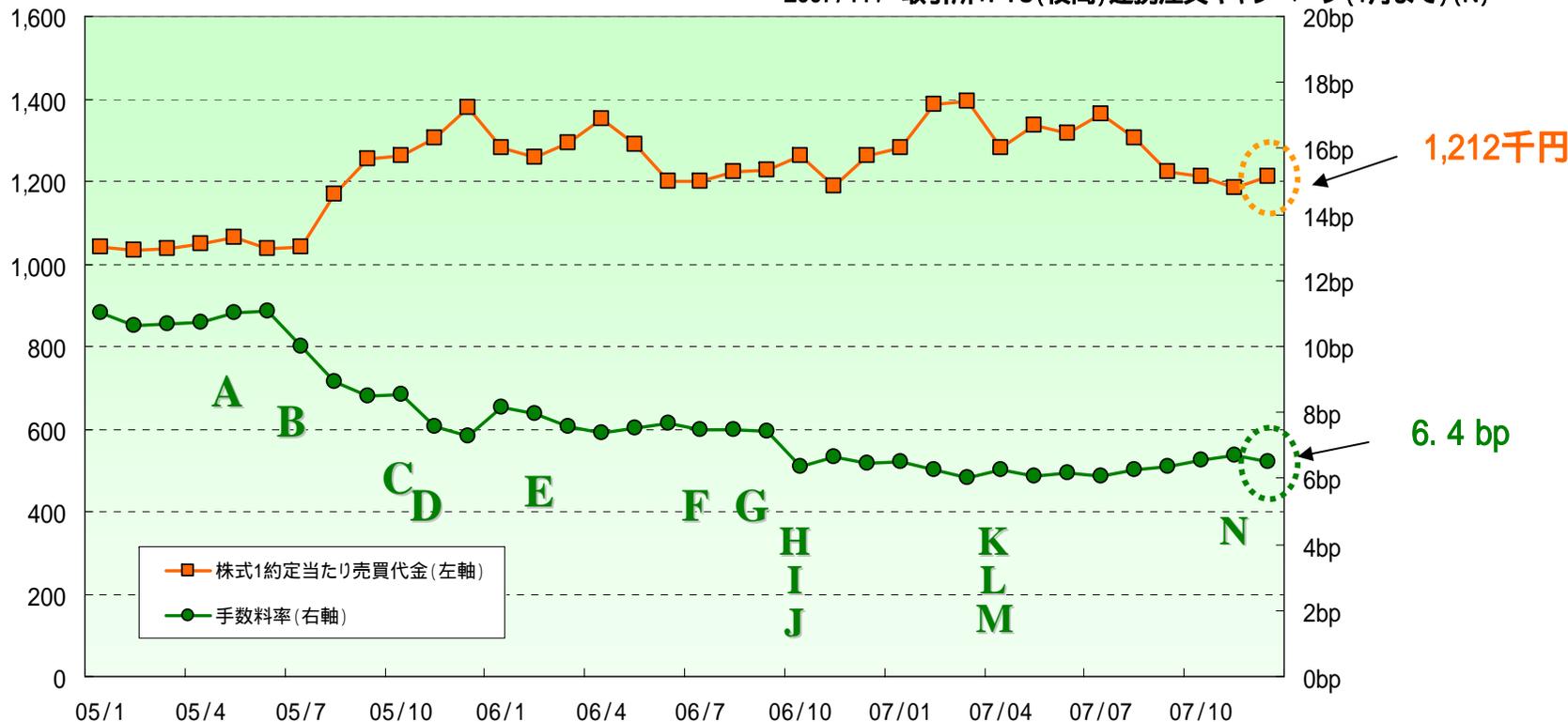
手数料率と株式1約定当たり売買代金

■ 2009年予定の株券電子化に向け、今後も収益性を勘案し手数料を段階的に引下げ。

- 2005/05: 「シニア割引(60歳以上)、株主推進割引:当社」(A)
- 2005/07: 「信用手数料の値下げ」(B)
- 2005/10: 「株主優待割引」(C)
- 2005/11: 「現物株式・プチ株の委託手数料値下げ」(D)
- 2006/02: 「信用手数料のワンウェイ手数料改定」(E)
- 2006/07: 「シニア割引を団塊の世代を含む50歳代に拡大」(F)
- 2006/09: 「kabu.comPTSみなやかんキャンペーン」(G) (3月まで)

- 2006/10: 「信用手数料大幅下げ、ワンウェイ手数料廃止」(H) (約定代金50万円以下は49%の値下げ)
- 2006/10: 「株主推進割引:MUFG、UFJニコスを追加」(I)
- 2006/10: 「夜間取引+取引所」の連携注文で、378円キャッシュバック」(J)
- 2007/04: 「kabu.comPTS」の手数料引き下げ (K)
- 2007/04: 「プチ株®」の手数料の引き下げ (L)
- 2007/04: 夜間取引手数料半額(189円)キャンペーン(5月まで) (M)
- 2007/11: 取引所+PTS(夜間)連携注文キャンペーン(1月まで) (N)

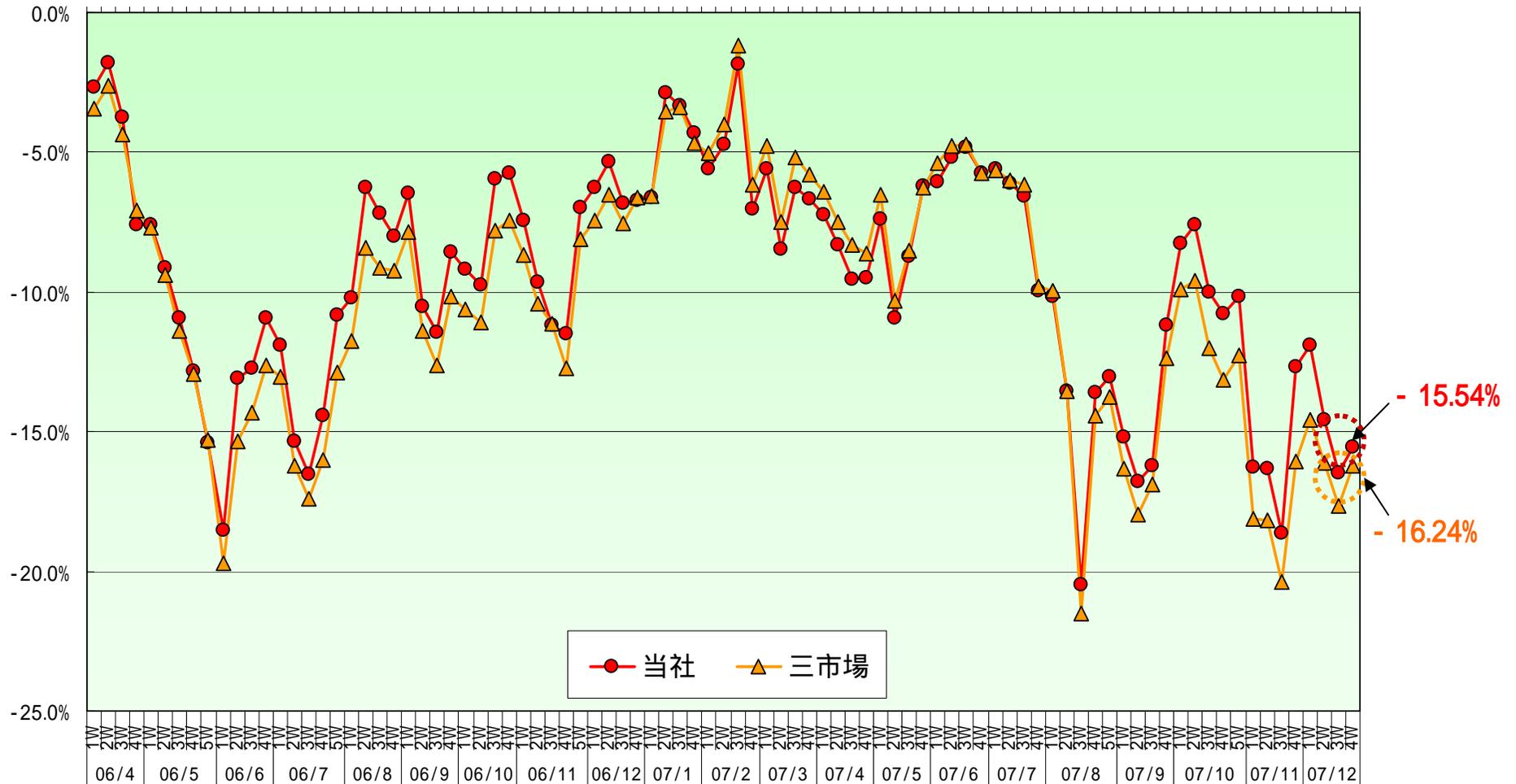
(千円)



手数料率は、株式委託手数料 ÷ 株式約定金額 にて算出

信用評価損益率(買建のみ)

■ 当四半期中、信用評価損益率は三市場合計をすべて上回る。



東京証券取引所公表数値より当社算出

三市場、当社ともに信用評価損益率は、 $[\text{評価損益(買建のみ)} \div \text{信用建玉残高(買建のみ)}]$ の数式にて算出

グラフは、三市場、当社ともに各週末の信用評価損益率を表したもの

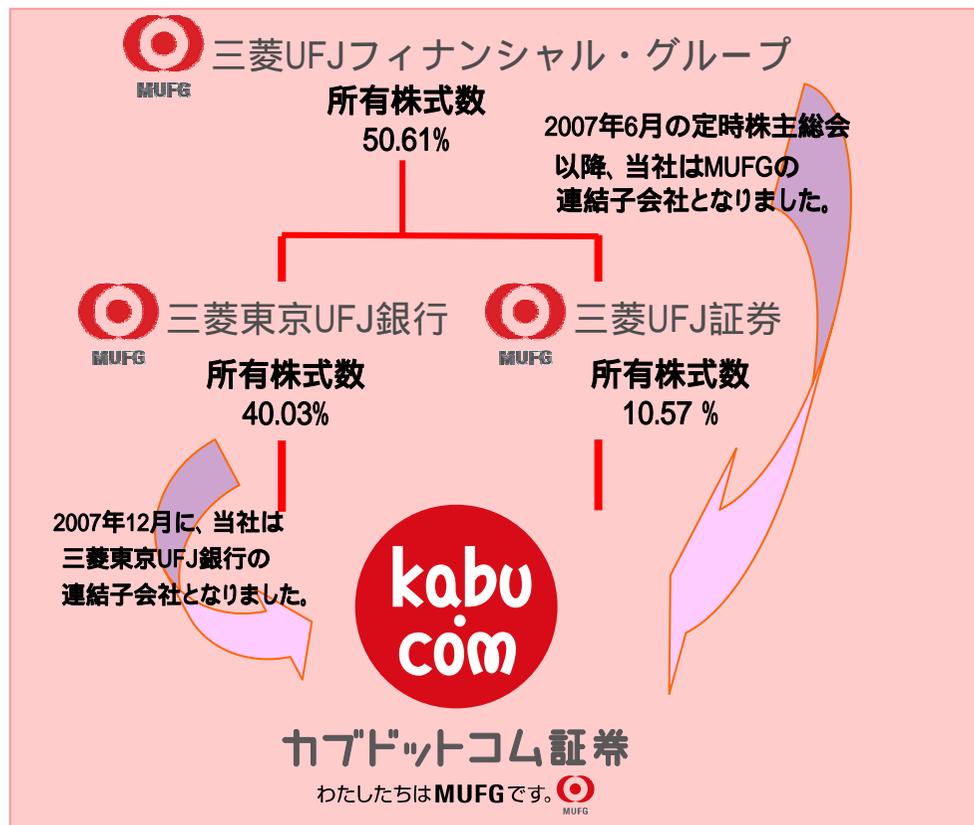
・ 当期の取り組み等

当期の主な取り組み（2007年4月-2007年12月）

	お客様サービス向上に向けた取り組み	取得・受賞・その他
Q1	<ul style="list-style-type: none"> ・「kabuマシーン™」利用料値下げ（4月）～「kabuマシンの日」割引を2割引に～ ・「プチ株®」の手数料25～66%値下げ（4月）～約定代金の0.945%、最低手数料は105円。～ ・外国為替保証金取引の開始（5月） ～株券を担保に利用できる主要ネット証券初のFX～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・株スクールin津田ホールを開催（5月） ・MUFGグループ個人投資家セミナー（6月） ・定時株主総会+カブ四季総会（東京）の開催（6月） 総会決議により、MUFGの連結子会社化へ ・日本格付研究所による格上げ（6月） ：長期・短期優先債務格付の引上げ
Q2	<ul style="list-style-type: none"> ・証券会社・銀行等からの投資信託振替入庫サービスの開始（7月） ～当社取扱ファンド（MMF・中国ファンド除く）なら、株券同様に他社から振替入庫可能。～ ・外国為替保証金取引（FX）に、最大96.8倍の大レバレッジコースを追加（7月） ・「ファンドDE割引™」投信残高1,000万円毎に株式手数料を毎月1回無料（ネット証券初）（7月） ・外国為替保証金取引（FX）手数料を、片道2銭均一に値下げ（8月） ・「大証イブニング・セッション」取扱い開始初日から対応（9月） ・一般信用取引の売建可能銘柄を42銘柄追加し690銘柄に（主要ネット証券最多）（9月） ・夜間取引市場「kabu.comPTS」に三菱UFJ証券など3証券が取引参加開始（9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人日本経済団体連合会への入会（7月） ・カブ四季総会（大阪）の開催（8月） ・「大証 株式先物・オプションフェア2007」へ参加（7月/東京、9月/大阪） ・MUFGグループ個人投資家セミナー（8月/東京、9月/大阪） ・株スクールin経団連ホールを開催（9月） ・自己株式の取得（9月）
Q3	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託を信用・先物・オプションにおける代用有価証券に追加（10月） ～主要ネット証券初、投資信託が担保（保証金/証拠金の代用有価証券）に活用可能～ ・ETF（上場投信）「上海株式指数・上証50運動型上場投資信託」を上場初日より取扱い（10月） ・コモディティなど7ファンド新規追加ならびに投資信託の取引利便性向上（11月） ～ノーロードファンド110本含む全247本に、取引ルール変更～ ・金融商品取引法施行に伴うお客様向けWEBサイト全面リニューアル（12月） <ul style="list-style-type: none"> ・評価額等が自動更新する「残高照会フラッシュ」のサービスをリリース ・ライター・ニュースの【無料】配信サービスをリリース ・常駐型自動メッセージ配信ツール「kabuガジェット™」サービスをリリース ・「アカウント・マネジメント」の更なる強化～ITとグループ力を活用した口座監視強化～（12月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「上証50運動ETF」上場記念ETFセミナー：大証と共催（10月） ・「倫理法令遵守マネジメント・システム規格 ECS2000v1.2」の導入 国内証券で初の導入（11月） ・カブ四季総会（名古屋）の開催（12月） ・三菱東京UFJ銀行による当社株式の公開買付 MUFGの持株比率は50.61%へ（12月） ・当社コーポレートカラーを緑色から赤色へ 「MUFG Red」に変更（12月）

三菱UFJフィナンシャル・グループとの連携強化

三菱東京UFJ銀行による株式公開買付けの結果、昨年12月、同行の連結子会社に（MUFGグループによる出資比率は50%超に）。
 連結子会社化に伴い、当社の「第二の創業期」としてコーポレート・カラーを変更。
 三菱東京UFJ銀行等のグループ企業との連携を更に強化。



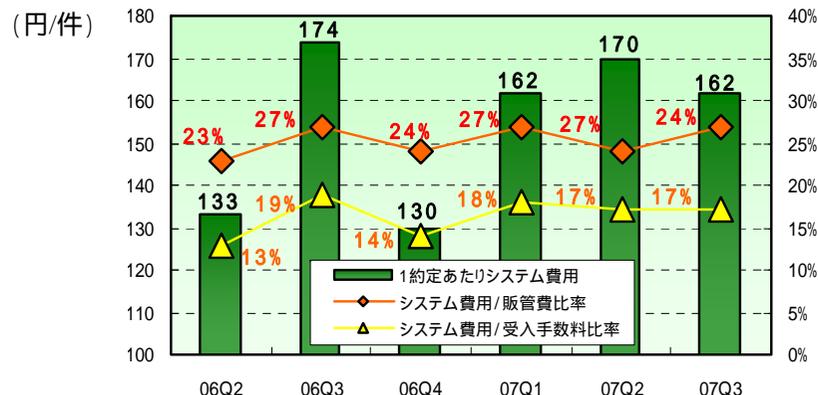
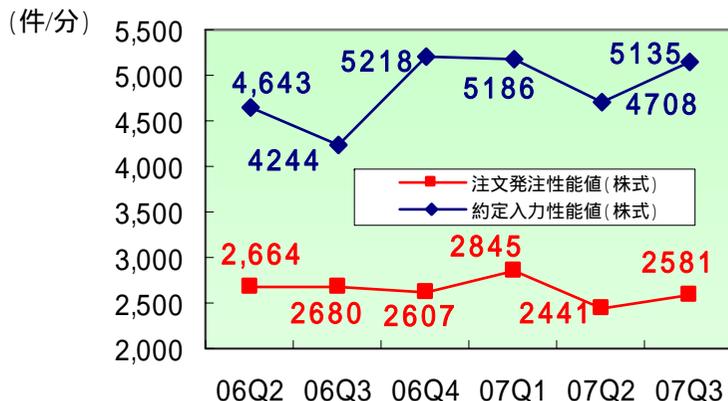
コーポレートカラーを緑色から赤色へ
 「MUFG Red」に変更

共同広告の展開(2008年1月)

システム関連の開示

■ 当四半期の実績

金商法施行を踏まえ、2007年12月に、Web 2.0等の最新ブッシュ技術を採用した残高照会画面、ニュース配信や、全ての顧客層に視覚的な分かりやすさを追及したお客様向けWebサイトの全面リニューアルを実施しました。



1約定あたりシステム費用は、FX取引を除く取扱い全商品を基に算出しております。

主な設備増強 (2007年10月- 12月)

2007年10月-12月の間、大規模な設備増強は実施しておりません。

システムレポートは月次で定期開示しております (<http://kabu.com/feature/system/report.asp>)

システム障害 (2007年10月- 12月)

日付	内容及び原因	対処
10/3	【内容】 勘定系データベースサーバ1号機および2号機が接続する内部的に二重化されたディスク構成装置においてハードウェア障害が発生し、当該の部品交換に伴い、9:40ごろまでの間、画面応答劣化、画面遷移時にエラー表示等の処理劣化となった。	【改善策】 障害となった機器と接続される勘定系システム全体について、障害発生機器交換後、ハードウェアの総点検を行った上で、確実に障害要素が取り除けているか確認を実施。 また、供給者管理の強化策として、検品体制、納品体制、およびハードウェア動作状況について、当社のキャパシティ管理等のシステム管理基準を元に、システム管理項目を新設し、QMSにおけるマネジメントレビューにて是正状況を把握、管理する。
	【原因】 二重化ディスク構成装置の主系から従系に切り替わるプロセス自身に障害が発生し、部品交換が必要となった。また、部品交換に伴い勘定系データベースサーバ1号機にて処理劣化が発生した。	
11/1	【内容】 外国為替保証金取引(以下、FX取引という)において、当社で取り扱っている全ての通貨ペアのレート更新が停止した。また各通貨ペアのチャートが表示されなくなった。	【改善策】 サービス供給者における監視強化の改善要望を提示し、月次で監視結果を報告させ、当社にてその妥当性を検証する。
	【原因】 当社へのFXサービス供給者の運用不備により、当社・供給者間のネットワークが不通となった。	

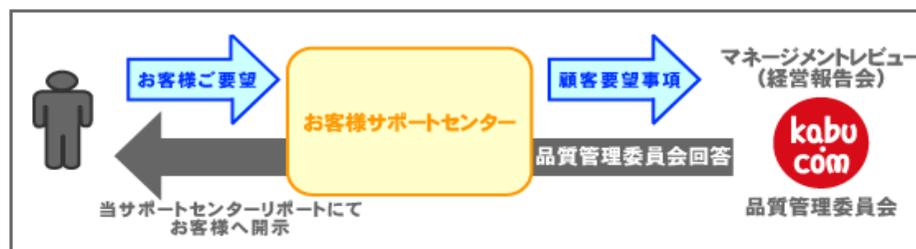
お客様サポートセンター関連の開示

■ 当四半期の実績

当社のお客様サポートセンター業務は、国際規格であるISO9001に基づき、品質マネジメントのPDCAサイクルを徹底して実行しております。その一環として、オペレーターがお客さまよりいただいた「ご意見、ご要望」等は、毎月定期的に品質管理委員会のマネジメントレビューにて経営者へ報告されております。この仕組みによって、経営者や品質管理委員会はお客さまのお声を把握することができ、その結果、迅速にこれらの問題に対処するとともに、より良いサービスの実現に向けた継続的な改善に努めております。

お客様サポートセンターの品質管理

お客さまからいただいた代表的な「ご意見、ご要望等」への回答は、「サポートセンターレポート」(<http://kabu.com/support/report.asp>)にて、月次で定期開示いたしております。また、当四半期はサイトの全面リニューアルに伴い、サポートセンターへ多くのご意見、ご要望をいただきましたが、特に多いご要望について、随時対応させていただきました。



当四半期におけるご要望の実現化例

外国為替保証金取引(FX)の「取引履歴」画面で、CSVダウンロード機能を付けてほしい。

5月のFX取扱開始時より、確定申告を控え多くのお客さまからご要望を頂きましたので、12月に対応いたしました。

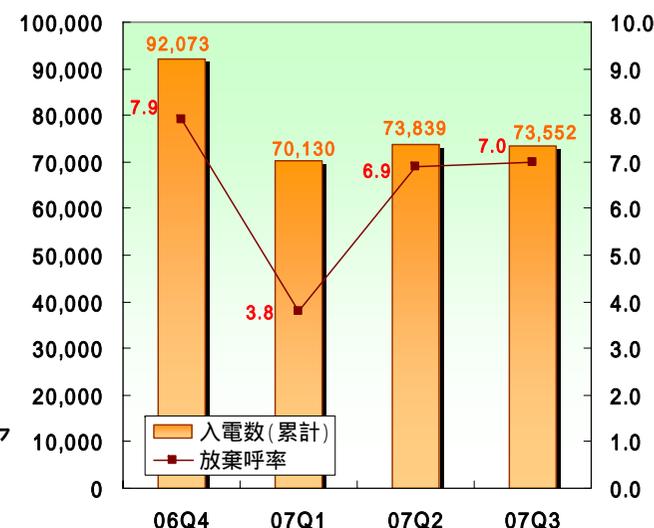
リニューアル後のサイト上に、カブボード、カブボードフラッシュへのリンクがほしい。

リンクを追加し、よりスムーズなアクセスが可能になりました。

当四半期は、9月30日施行の金融商品取引法や、株式相場、為替相場の大幅な変動に伴うお問い合わせが急増いたしました。また、12月16日に実施したサイトの全面リニューアルに伴い、サポートセンターの営業を延長いたしました。放棄呼率は7%となり、前四半期とほぼ同水準でした。

お客様サポートセンター利用状況

(入電数-累計) (放棄呼率)



売買審査状況

「金融商品取引法」の施行に伴い、適合性原則を踏まえた売買審査態勢へ強化。
市場動向・お客様の投資記録等の総合的視点で投資家保護に努めます。
証券市場の公正性、信頼性の確保のため、不公正取引の未然防止に努めます。

< 2008年3月期 月次推移 > ~ 主な売買審査状況 ~

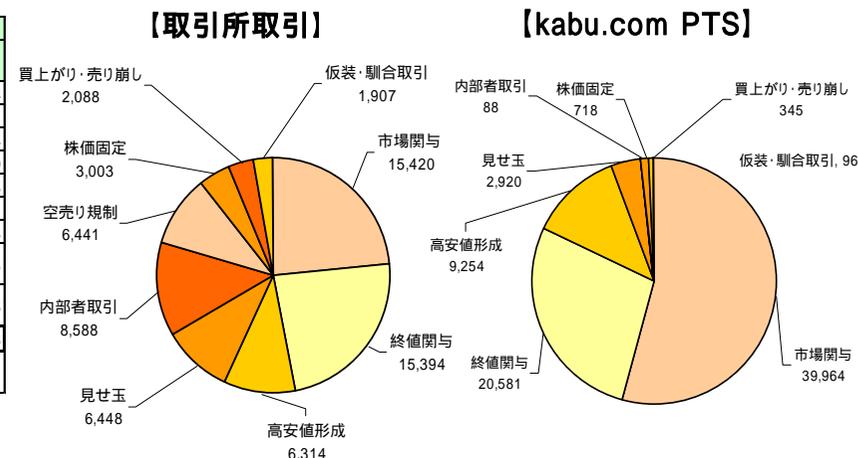
売買審査項目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	取引所 取引	kabu.com PTS	取引所 取引	kabu.com PTS	取引所 取引	kabu.com PTS												
空売り規制	659(78)	-(-)	811(88)	-(-)	730(74)	-(-)	537(62)	-(-)	689(74)	-(-)	672(82)	-(-)	1,031(73)	-(-)	715(46)	-(-)	597(56)	-(-)
買上がり・売り崩し	214(9)	39(0)	198(10)	48(0)	190(7)	46(0)	199(2)	32(0)	306(5)	34(0)	217(7)	22(0)	270(6)	61(0)	306(2)	39(0)	188(1)	24(0)
終値関与	1,448(9)	2,330(1)	1,731(5)	3,072(0)	1,750(4)	2,774(0)	1,789(7)	2,160(0)	1,961(9)	2,167(0)	1,444(18)	1,636(0)	1,864(3)	2,779(0)	1,825(8)	2,447(0)	1,582(4)	1,216(0)
仮装・馴合取引	201(0)	14(0)	221(2)	14(0)	186(1)	8(0)	183(6)	13(0)	250(7)	6(1)	152(6)	8(0)	222(8)	8(0)	227(3)	13(0)	265(1)	12(0)
見せ玉	605(18)	459(0)	642(23)	421(0)	822(24)	332(0)	750(11)	276(1)	767(6)	292(0)	561(7)	185(0)	824(4)	396(0)	810(5)	367(0)	667(4)	192(0)
高安値形成	630(3)	1,045(0)	620(2)	1,190(0)	582(1)	1,092(0)	696(0)	1,101(0)	923(5)	1,153(0)	727(0)	885(0)	771(3)	1,109(0)	769(1)	1,093(0)	596(0)	586(0)
株価固定	321(2)	69(0)	338(2)	108(0)	350(9)	138(0)	353(2)	96(0)	385(3)	79(0)	284(1)	54(0)	339(0)	85(0)	342(0)	60(0)	291(0)	29(0)
市場関与	1,508(26)	4,388(0)	1,628(6)	5,055(0)	1,638(13)	4,944(0)	2,142(10)	4,880(0)	2,320(11)	4,159(0)	1,489(10)	2,866(0)	1,793(11)	5,628(0)	1,669(13)	4,996(0)	1,233(7)	3,048(0)
内部者取引	764(0)	2(0)	930(0)	6(0)	717(0)	9(0)	1,162(2)	8(0)	1,166(1)	11(0)	760(0)	4(0)	975(0)	25(0)	1,151(0)	13(0)	963(0)	10(0)
月間計	6,350(145)	8,346(1)	7,119(138)	9,914(0)	6,965(133)	9,343(0)	7,811(102)	8,566(1)	8,767(121)	7,901(1)	6,306(131)	5,660(0)	8,089(108)	10,091(0)	7,814(78)	9,028(0)	6,382(73)	5,117(0)
審査件数/ 注文件数	0.79%		0.86%		0.73%		0.79%		0.92%		0.97%		0.93%		0.99%		0.81%	

上記表は、当社売買審査基準に基づいて取引審査を行った件数、()内は、そのうちご案内や注意を行った件数

< 四半期推移 > ~ 主な売買審査件数内訳(件数順) ~

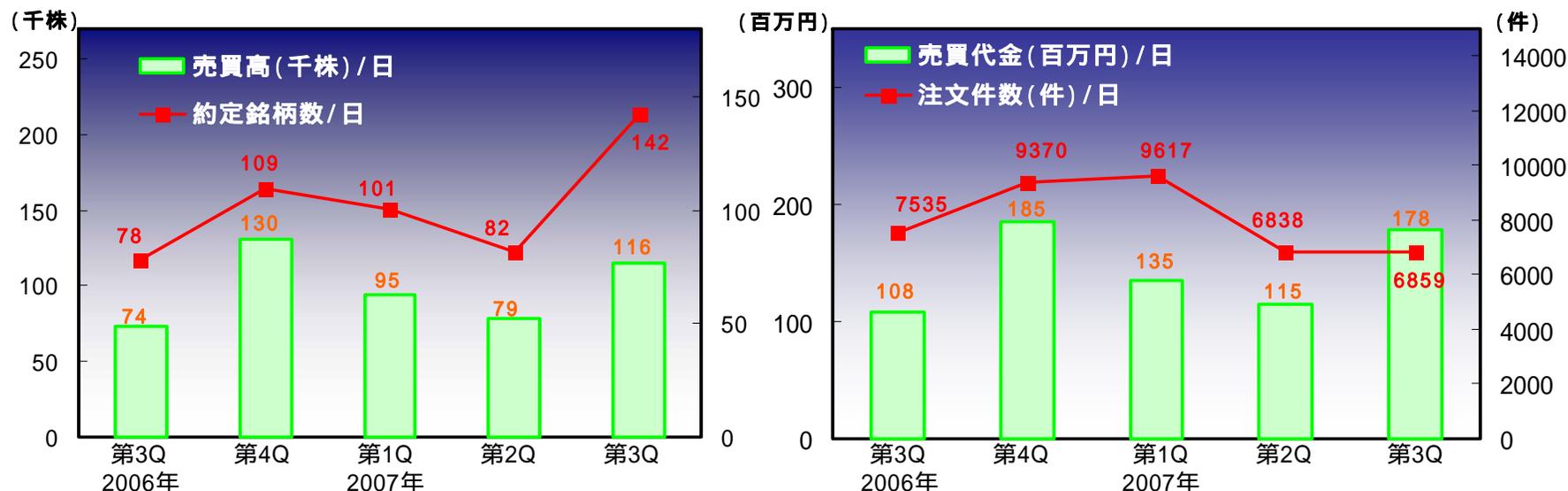
売買審査項目	第1四半期		第2四半期		第3四半期		合計	
	取引所 取引	kabu.com PTS	取引所 取引	kabu.com PTS	取引所 取引	kabu.com PTS	取引所 取引	kabu.com PTS
市場関与	4,774	14,387	5,951	11,905	4,695	13,672	15,420	39,964
終値関与	4,929	8,176	5,194	5,963	5,271	6,442	15,394	20,581
高安値形成	1,832	3,327	2,346	3,139	2,136	2,788	6,314	9,254
見せ玉	2,069	1,212	2,078	753	2,301	955	6,448	2,920
内部者取引	2,411	17	3,088	23	3,089	48	8,588	88
空売り規制	2,200	-	1,898	-	2,343	-	6,441	-
株価固定	1,009	315	1,022	229	972	174	3,003	718
買上がり・売り崩し	602	133	722	88	764	124	2,088	345
仮装・馴合取引	608	36	585	27	714	33	1,907	96
合計	20,434	27,603	22,884	22,127	22,285	24,236	65,603	73,966
審査件数/ 注文件数	0.79%		0.88%		0.92%		0.86%	

売買審査状況は月次で定期開示しております (<http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/>)



私設取引システム (kabu.comPTS) 関連の開示(1)

当四半期は、9月の三菱UFJ証券株式会社他2社の取引参加、及び11月のクレディ・スイス証券株式会社の参加により、前年同四半期比で一日当たりの「約定銘柄数142銘柄(+82.65%)」、「売買代金 178百万円(+64.93%)」、「売買高115,531株(+56.89%)」と増加し、課題である流動性を高める傾向となりました。



取扱銘柄数 2006年9月時点:300銘柄、11月時点:1000銘柄、2007年3月時点:2000銘柄

kabu.comPTSに関する当四半期の主な取り組み

- 2007/10 上海株式指数・上証50連動型上場投資信託(1309)等、27銘柄追加。
- 2007/11 夜間取引市場「kabu.comPTS」取扱銘柄に、金価格連動型上場投資信託(1328)など、ETF銘柄を8銘柄拡充。
- 2007/11 連携すればみなやかん！ 取引所+PTS(夜間)連携注文キャンペーン実施。
- 2007/12 取扱銘柄に、ウェブマネー(2167)及びユビキタス(3858)の2銘柄を追加し、取引実績の低い5銘柄を選定銘柄より除外。

kabu.comPTSレポートは月次で定期開示しております (<http://kabu.com/pts>)

私設取引システム (kabu.comPTS) 関連の開示 (2)

第4四半期のkabu.comPTSに関する施策

2008年1月15日より、同市場の「呼値の刻み」を縮小しました。

取引時間を8:20～23:59まで連続15時間39分に拡大します(国内PTS最長)。

早朝からの取引の他、取引所の取引時間はもちろん昼の休憩時間や夕刻、夜間まで、国内PTS最長となる連続15時間39分の取引時間となります(2008年3月中開始予定)。

kabu.comPTS独自の呼値の刻みは、取引時間中全てに適用されますので、日中の取引所取引時間でもより細かい刻み値での取引が可能となり、取引所取引を幅広く補完します。

取引参加証券会社の拡大

国内外の複数証券が参加予定(2009年株券電子化を踏まえ取引所外電子取引市場を高度化しアルゴリズム取引対応APIを提供予定)。

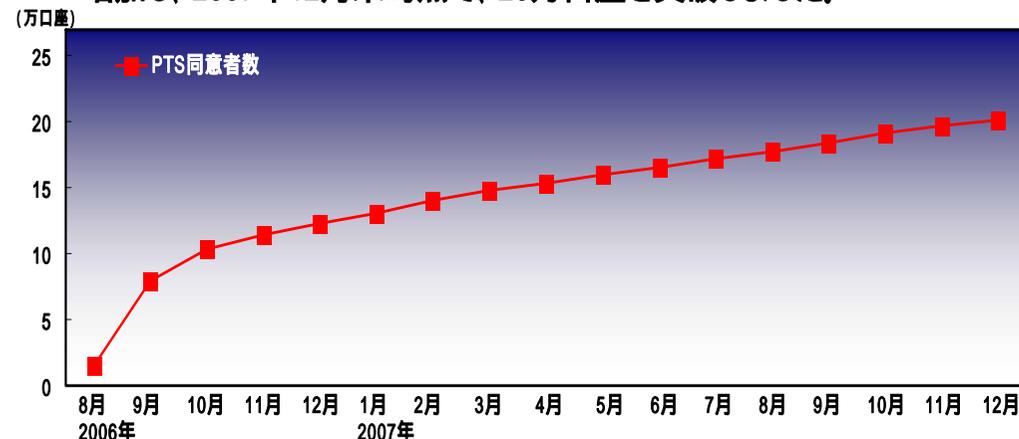
拡大予定のkabu.comPTSの取引時間(取引所との比較)

	0:00	9:00	11:00	12:30	15:00			
東証		前場		後場	15:10	16:30		19:00
大証		前場		後場		ES(先物・OP)		
kabu.com PTS		kabu.comPTS 取引時間						
		8:20						23:59

kabu.comPTSの呼値の刻み(1/15より実施済)

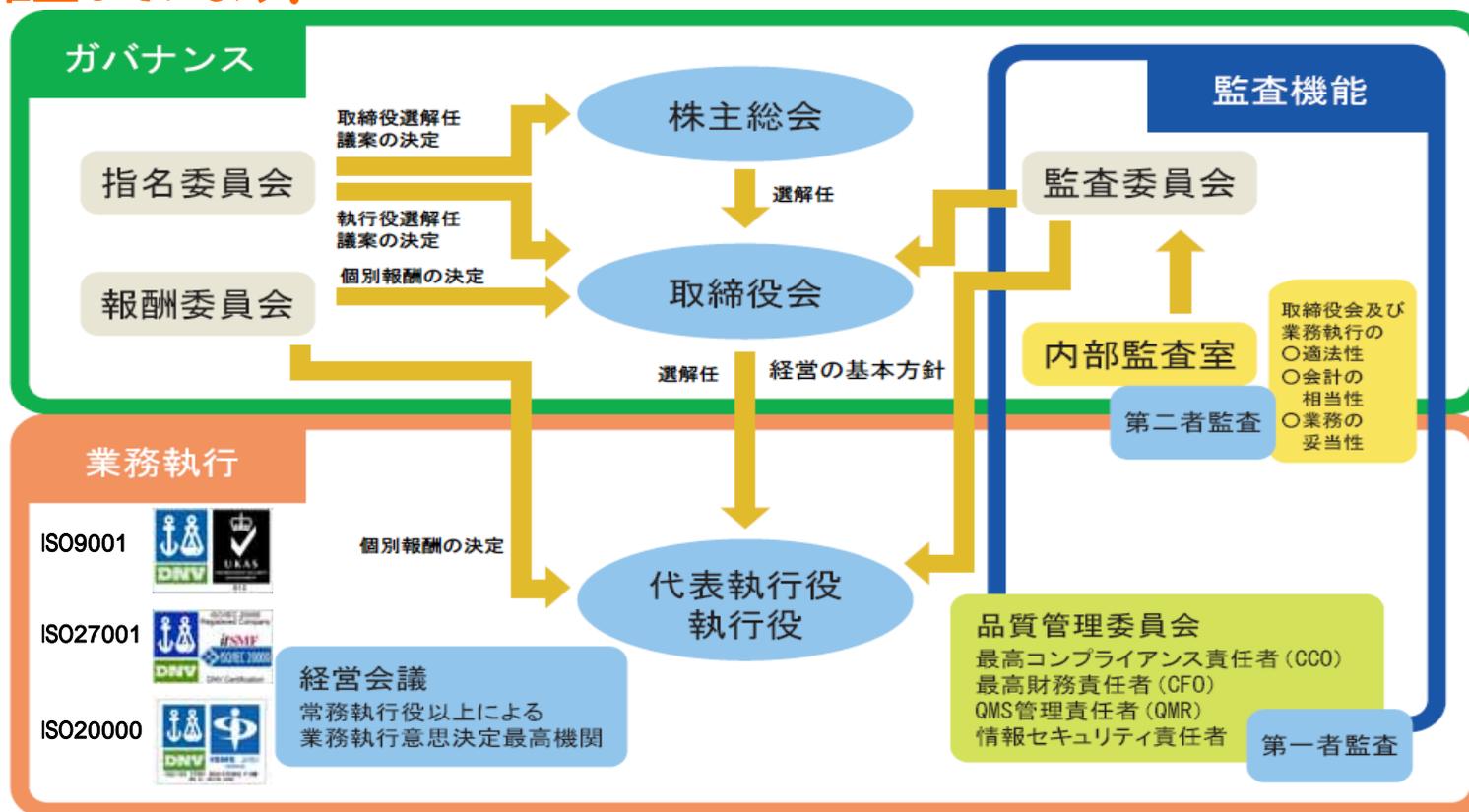
株価水準	呼値の単位
～1万円以下	1円
1万円超 ～10万円以下	10円
10万円超 ～100万円以下	100円
100万円超～1,000万円以下	1,000円
1,000万円超～	10,000円

PTS取引参加同意者数は、2006年8月の申込受付開始から着実に増加し、2007年12月末時点で、20万口座を突破しました。



コーポレート・ガバナンス

- 「委員会設置会社」と、「品質(ISO9001)」「情報セキュリティ(ISO27001)」「ITサービス管理(ISO20000)」の国際規格の認証取得、また、2007年11月には「倫理法令遵守(ECS2000)」の規格導入など「PDCAサイクル」を基盤としたコーポレート・ガバナンスを確立しています。



2003年6月 国内オンライン専門証券では初めて、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001(2000年版)の認証を取得
2006年8月 国内証券会社では初めて、情報セキュリティ管理の国際規格であるISO27001の認証取得
2006年8月 国内金融機関では初めて、ITサービス管理の国際規格であるISO20000の認証取得
2007年10月 国内証券では初めて、倫理法令遵守マネジメントシステム規格であるECS2000の導入

知的財産関連の活動状況

当社では、新技術およびそのサービス名称を「特許権」「商標権」として権利化することにより企業の保有する知的資産の価値として蓄積し、企業価値の向上に結びつけるため、知的財産戦略に積極的に取り組んでおります。

当社の登録特許の件数は**オンライン証券最多の6件**(共同特許含む)
 特許の一部については、ライセンス料収入の受入実績が発生。他社についても抵触状況を調査・確認の上、協議を開始し、今後の受入実績を広げていく予定
 当期に経済産業省から公表された「知的財産情報開示指針」に準拠した「**知的財産報告書**」を更新し、当社ホームページで開示
 自動売買をはじめ、kabu.comPTS(夜間取引)、銀行代理業の関連技術など、当社独自のサービスに関する特許を多数出願中

当社の取得する登録特許の概要

特許登録番号	特許権の概要
特許第3719711号 ()	電話をかけ直すことなく、コールセンター間の通話を可能にする中継方法
特許第3734168号	【自動売買】± 指値(プライマィさしね®) の処理システム
特許第3754009号	【自動売買】 W指値® の利益確定とロスカットの幅を自動設定するUターン注文の処理システム
特許第3875206号	【自動売買】当社の 逆指値 注文をはじめとする 自動売買 を実現するための発注装置
特許第3916242号 ()	オンラインによる証券口座開設ならびに、開設後の自動ログインによる証券取引
特許第3966475号	SLA(サービス品質保証制度) を実現するための技術

三菱東京UFJ銀行との共同特許

・ 当社の経営目標

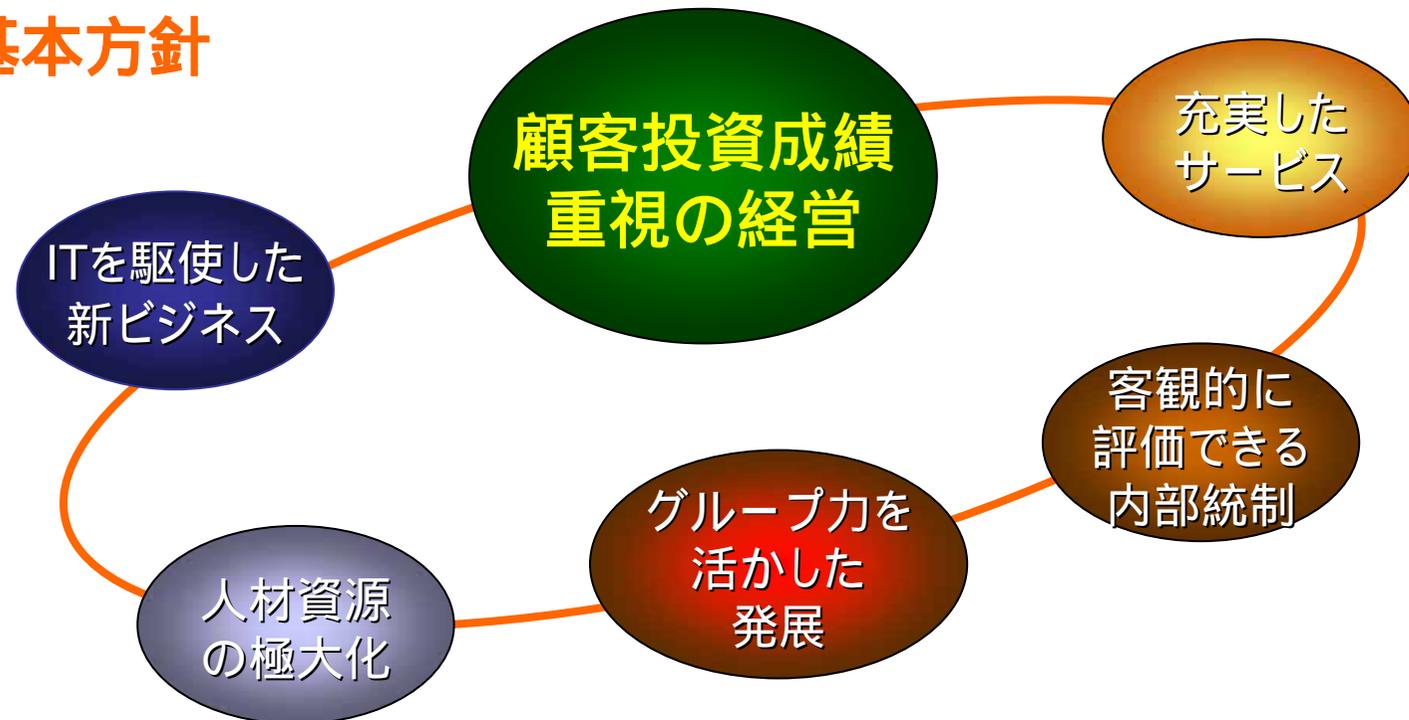
当社の経営理念・経営方針

経営理念

顧客投資成績重視の経営

- 個人投資家へ「**リスク管理追求型**」というコンセプトのもとに、利便性と安定性を徹底的に追求した独自サービスを提供するとともに、啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供します。

経営基本方針



当社の経営目標

ROE 20%台の維持 >>> 当四半期のROEは 17.5%
 (第1四半期 16.5% 第2四半期 17.4%)

- 当社は、企業価値最大化のためには自己資本に対する利益率の向上がその基盤になると考え、当期純利益によるROE(自己資本利益率)を重視しております。
- ROEは4四半期連続で改善するものの引き続き、目標とする**ROE 20%台**を中期的に維持することをめざしてまいります。
- ROEの目標達成のためには効率的な収益構造が必要であり、コストカバー率()を常に監視してまいります。

コストカバー率
 委託手数料 ÷ 販管費率: 委託手数料で販管費を何倍カバーできるかを表したもの
 委託手数料 ÷ システム関連費率: 委託手数料でシステム関連費を何倍カバーできるかを表したもの
 *システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

株主還元策の実施

- 当社は、財務体質の強化、将来の事業拡大のための内部留保等のバランスを考慮にいれながら利益配分を行うことで株主利益の最大化を図ることをめざしてまいります。
- 2007年8月29日開催の取締役会において自己の株式を取得することを決議し、10,000株の市場買付を実施いたしました。
- 今後も株主利益の最大化を図りつつ、**30%程度の配当性向**を維持することを経営目標としてまいります。

kabu.comは積極的な開示を続けております

IR情報 <http://kabu.com/company/>

決算・財務情報

http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp

業務情報（委託手数料の推移）

<http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp>

業務情報（注文・約定情報等の推移）

<http://kabu.com/company/disclosure/order.asp>

kabu.comPTS 夜間取引情報 <http://kabu.com/pts/default.asp>

売買審査状況

<http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/>

コーポレートガバナンス報告書

<http://kabu.com/company/governance.asp>

品質管理システム報告書

http://www.kabu.com/company/disclosure/qms_report.asp

お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

証券投資は、価格変動、金利変動、為替変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。

投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。

お取引に際しては、目論見書（商品毎）および目論見書補完書面（投資信託）をよくお読みください。

信用取引・株価指数先物取引・株価指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

外国為替保証金取引（FX）は、取引金額がお客様が預託しなければならない保証金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替保証金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、外国為替保証金取引の契約締結前交付書面をよくお読みください。

保証金（1万通貨）：コース、通貨ペアにより25,000円～1,000,000円 / 手数料：2銭（1万通貨当り200円）

夜間取引市場「kabu.comPTS」は、証券取引所とは異なるため、一般的に流動性が低く値動きが大きくなる可能性がありますので、お取引の際は注文状況をご確認の上でご注文ください。

お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

各商品等へのご投資には、商品ごとに所定の手数料等が必要です。

ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。

<http://kabu.com/info/escapeclause.asp>

カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。

- ・金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号
- ・銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号
- ・加入協会：日本証券業協会・金融先物取引業協会